

防草型境界ブロック

雑草防止工法を用いた歩車道境界ブロック

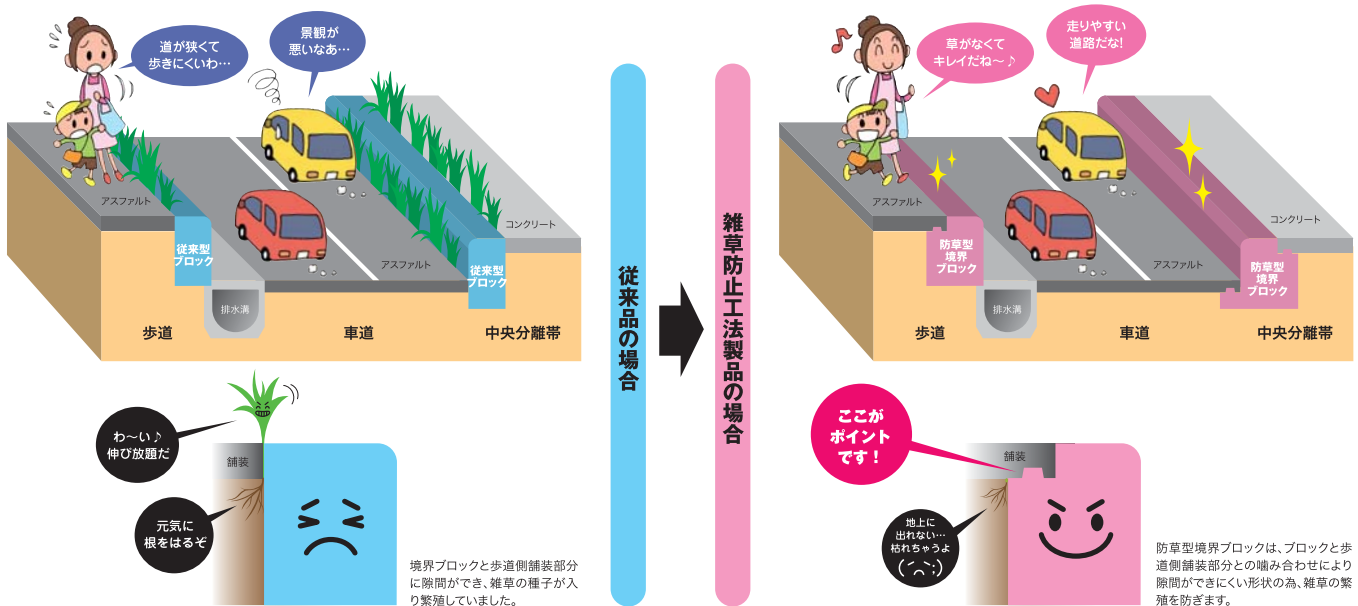
特長

- NETIS 登録はすでに10年間掲載済みです。
- 雑草をなくすることで、景観が良くなり、道路環境の改善になります。
- 維持管理に要する草刈り費用を削減できます。
- 施工性は従来と同じです。特に舗装材の新設施工や撤去工事等も従来と同じ要領で行えます。
- 歩車道境界ブロックのJIS形状をそのまま保持しているのので車の衝撃荷重に対しても強いうえ、下幅が広いので安定性が向上します。
- 雑草防止工法の突起は、植物の成長を確実に止める効果があります。また、舗装部が突起としっかりかみ合うため、舗装がひび割れたり、ずれたりしない効果があります。

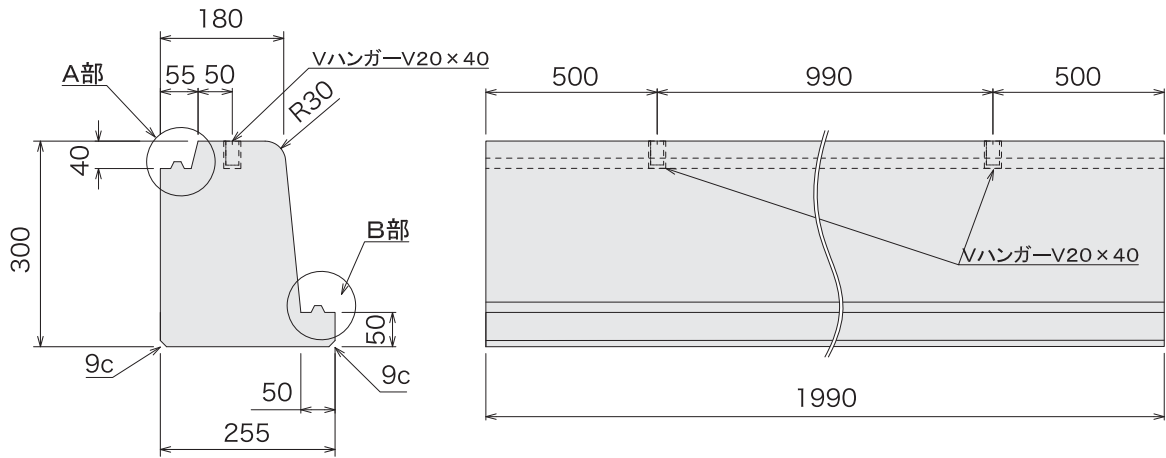
構造

「雑草防止工法」は製品の一部をカット、または張り出させてその水平部の中央に突起を設けた構造となっておりその効果は次の3つです。

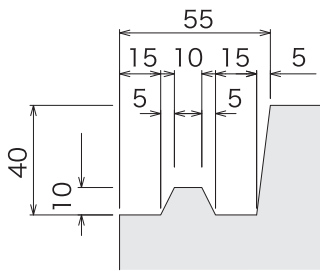
- ① コンクリート二次製品とアスファルトがかみ合い、隙間を作らないので雑草は生えにくくなります。
- ② アスファルト下から雑草がコンクリート面とアスファルト面の間を伸びるとしても突起部があり、その伸長を許さない構造になっています。
- ③ コンクリートとアスファルト部分に種が入って成長しかけたとしても下の乾燥したコンクリートによって根が成長することができません。



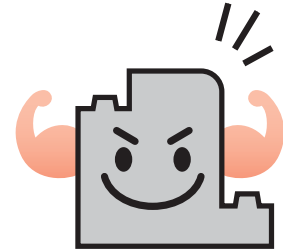
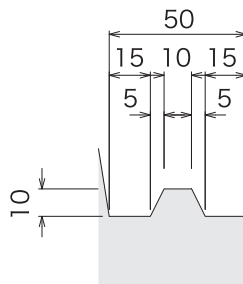
防草型境界ブロック寸法図



A部詳細図



B部詳細図



参考重量：278kg(L=1990)

※L=995 もあります。

左側：「雑草防止工法」により施工
※雑草が全く生えていません。



右側：通常のブロックで施工
※肌別れして雑草が繁茂しています。